

レーザー**易**開封加工

今、世界でもっともレーザーマーカが導入されているアプリケーションは、
パッケージをレーザー加工する用途です。

易開封加工、ミシン目加工、空気穴の抜き加工において、レーザーマーカが用いられるケースが増えていますが、今回はレーザー易開封加工についてご紹介いたします。レーザー易開封加工とは、レーザービームによりフィルムを半切断し、開封時にはその半切断箇所からフィルムが切裂かれ開封ができるというものです。同じレーザーマーカで賞味期限等の印字も加工と同時にできます。



3つの理由 ~レーザー方式が選ばれる~

1 省メンテナンス

レーザーマーカは非接触で加工するため、刃物で必要な磨耗の管理、メンテナンスや交換が不要になります。生産休止時間が圧縮され、これまで以上に生産効率を上げることが可能となります。

また接触式でありえるような刃こぼれ混入等が完全にならずに済みます。

※ 印字機として、レーザーマーカはインクリボンの補充、サーマルヘッドの交換不要です。

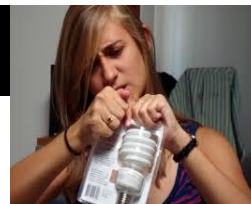


安全+第一

2 パッケージスペックの向上

レーザーで易開封加工をする場合は開封のきっかけ部分だけでなく、切裂く経路をデザインすることが可能であり、最終消費者のユーザビリティが向上します。また、刃物方式では難しいR付けもレーザーであればDXFやイラストレータデータを入れるだけで可能です。

※ レザーマーカの印字は半永久的に消える事のない信頼性の高い印字です。



3 コストパフォーマンス

易開封処理されたフィルムではなく、通常のフィルムを包装工程で加工するので包装フィルムの費用において大きなコストダウンが可能です。

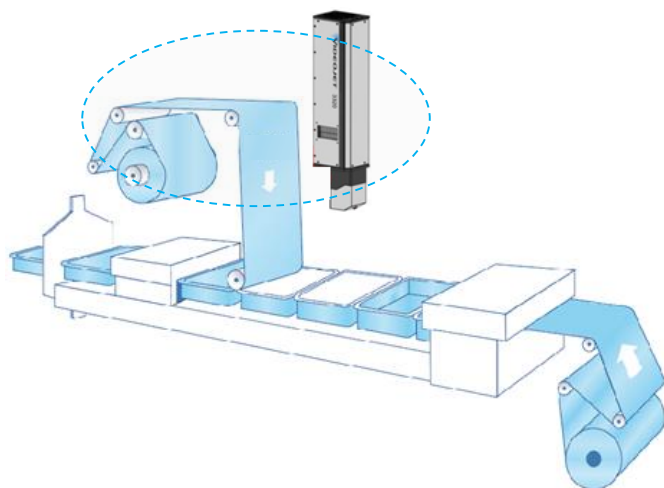
また、もし穴あけやミシン目加工をレーザー方式に変えられる場合は、工具の交換費用が解消することについて大きな評価を受けております。



〔 包装機組込みイメージ 〕

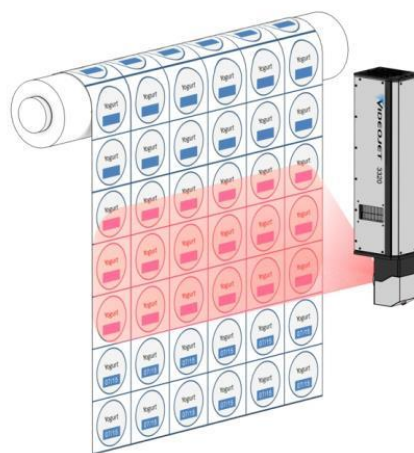
□横ピロー包装機

現在サーマルプリンタ等が搭載されている
箇所がレーザーマーカの設置箇所となります。



□縦ピロー包装機

レーザーマーカの場合は多数列分を
1台のレーザーマーカで処理可能です。



※印字と加工を同時に行われる場合は
間欠停止モードでお願いいたします。

パッケージに賞味期限やロットナンバーの印字はございますか？
いずれにしても印字機を使われるので、
印字といっしょに機能加工もおこないませんか？



ビデオジェット・エクスライト株式会社

本社オフィス

〒135-0064 東京都江東区青海2-5-10

テレコムセンタービル西棟6F

〈営業、サポート拠点〉

東京、大阪、名古屋、仙台、岡山、熊本

サンプル印字のご依頼など、
お気軽にお問い合わせください。

〔 マーケティング部 〕

0120-984-602